

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ベノム・ストライク	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.034	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ベノム・ストライク

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

比較対照ボール：スラッシュ

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

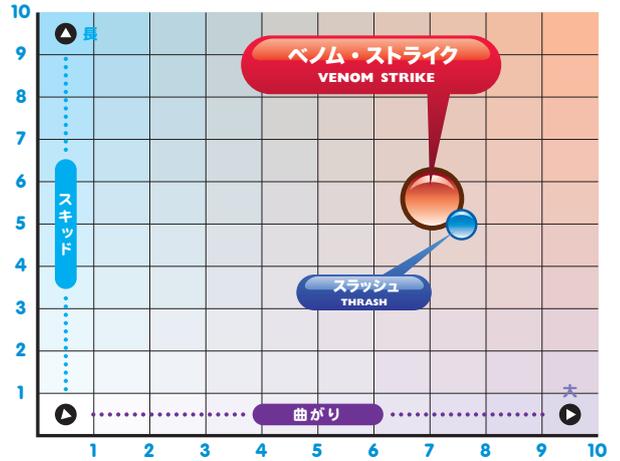
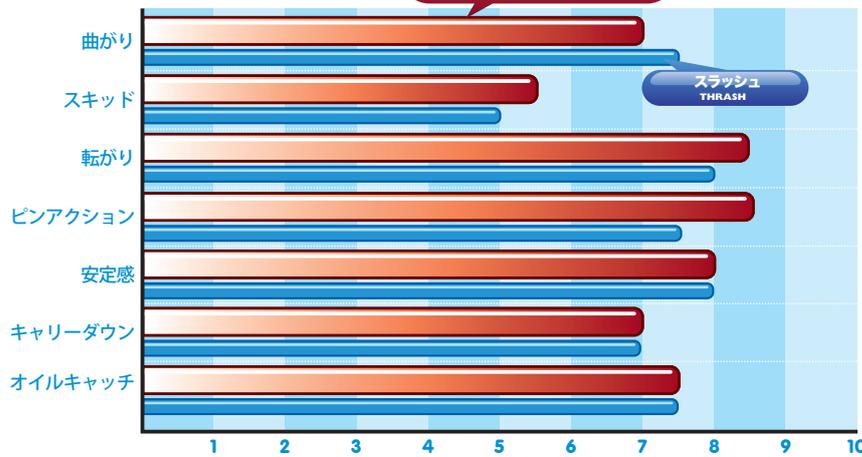
表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

ABS専属の山本勲プロがシーズントライアルで2CRUEL、宮城オープンでプライマル・スクリームそれぞれMOTIV社のボールを使用し、圧巻の優勝を成し遂げました。山本プロも私もこのような成績は「いつ出ても不思議ではない」と思えるほどMOTIV社のパフォーマンスは進化しており、これから数多くの成績が実績として残されることでしょう。

今回のこのVenom StrikeはMOTIV社発表では、SIGMAのAtomix Reactiveカバーをケミカルチューンし、"Arc Solid Reactive"というSolid系 ReactiveにMOTIV社鉄板の"GT1"のGearコアを採用しています。発表にある持続性を特徴としたArc Solid Reactiveと扱いやすいネジレをもつGearとの組み合わせなので、コントロールしやすいボールかと想像はしたのですが、投球して予想は大きく履がえされました。それは低いRGで手前からしっかりと転がり、バックエンドで向きの変り方が明確に見えるほどのシャープさを感じたからです。BOXフィニッシュの"3000 Grit Sand"という表記と"Arc Solid Reactive"というSolid系 Reactiveからは、MOTIVが明記しているミディアムからミディアムライトまでの対応と、緩やかなアーク状の動きとは相反するイメージには感じました。

しかし転がりの良さとSolid系 Reactiveとのキャッチと転がり双方を感じながらバックエンドで角度のある曲がりを得られるのは意図と反して日本のマーケットには好条件で、皆様が良いボールに求める条件多くが含まれていることでもあります。

2CRUEL、プライマル・スクリームから今までMOTIV社を使ったことがない方が使用することで、これから多くの場面でMOTIV社のボールが実績となり評されることが増えることでしょう。

特記事項

山本勲プロの活躍により、MOTIV社の知名度とパフォーマンスは急上昇中です。MOTIV社ファン増殖中につき、その性能にご注意ください。